

こんにちは 松坂みち子 です



日本共産党市議会議員 松坂みち子の活動報告
ご意見など、ぜひお寄せ下さい。

< 264 2016.3.16 連絡先 402-1622 >

2月定例会 ー 一般質問

3月7日、1福祉について、2経済政策についての2点で一般質問を行いました。
福祉については、社会的に弱い立場の人が犠牲になることのないようにとの思いから、・高齢者施策 ・指導監査の二つの視点からたどりました。いま多くの高齢者の置かれている状況は、低年金に社会保険料の負担増で貯蓄を取り崩しての暮らしです。預貯金がなくなったらどうしようという不安の中で、内にこもってしまう高齢者の実態を調査し何らかの支援策につなげていくことが必要です。また、保育園や高齢者施設で利用者が犠牲になることが続く中、そういう施設が法に基づいて運営されているかを調査し、場合によっては指導、改善を求めそれを見届けるのが指導監査です。市民からの通報があっても、虐待などの確証がないかぎり通知してから訪問するとの答弁があり、それは、隠そうという意志のある事業者にその時間を与えることになり実態が見えなくなるのではないかと、利用者に関わる事案であれば通知しないで行くことも必要だと主張しました。社会的に弱い立場の方が犠牲になることのないように、よりきめ細かな手立てと実態を知るための努力を求めました。



経済政策について、市も経済効果を認めているリフォーム助成制度の創設を求めました。市の経済を支える小規模事業所の活性化が不可欠であると市は答弁しています。またリフォーム助成制度は現在行っている耐震改修と同時のリフォーム助成より経済効果が大きいことは明らかです。市は「行政課題の解決と経済効果の両面に立ち総合的に判断して進めていきたい」と答えました。

みち子のひとりごと フクシマ

「自分が牛飼いを育てるのは当たり前のことだ」彼の言った言葉が心に残ります。



「自分には牛飼いを育てるのは当たり前のことだ」彼の言った言葉が心に残ります。

「誰もいなくなった絶望の町でも、この牛たちだけは元気に生き続けている。それこそが希望なんだ」と話を聞いて、5年たつてもフクシマは何も解決していかない、ひとたび事故が起これば取り返しのできない

「誰もいなくなった絶望の町でも、この牛たちだけは元気に生き続けている。それこそが希望なんだ」と話を聞いて、5年たつてもフクシマは何も解決していかない、ひとたび事故が起これば取り返しのできない

「誰もいなくなった絶望の町でも、この牛たちだけは元気に生き続けている。それこそが希望なんだ」と話を聞いて、5年たつてもフクシマは何も解決していかない、ひとたび事故が起これば取り返しのできない

「誰もいなくなった絶望の町でも、この牛たちだけは元気に生き続けている。それこそが希望なんだ」と話を聞いて、5年たつてもフクシマは何も解決していかない、ひとたび事故が起これば取り返しのできない

「誰もいなくなった絶望の町でも、この牛たちだけは元気に生き続けている。それこそが希望なんだ」と話を聞いて、5年たつてもフクシマは何も解決していかない、ひとたび事故が起これば取り返しのできない

「誰もいなくなった絶望の町でも、この牛たちだけは元気に生き続けている。それこそが希望なんだ」と話を聞いて、5年たつてもフクシマは何も解決していかない、ひとたび事故が起これば取り返しのできない

「誰もいなくなった絶望の町でも、この牛たちだけは元気に生き続けている。それこそが希望なんだ」と話を聞いて、5年たつてもフクシマは何も解決していかない、ひとたび事故が起これば取り返しのできない

「誰もいなくなった絶望の町でも、この牛たちだけは元気に生き続けている。それこそが希望なんだ」と話を聞いて、5年たつてもフクシマは何も解決していかない、ひとたび事故が起これば取り返しのできない

フクシマを忘れない！原発ゼロ集会で、福島第一原発から北北西に14キロ、福島県双葉郡浪江町で牛を育て続けている牧場の方の話を聞きました。

被ばくした牛たちを殺処分させよという国の指示に従わず、300頭以上の牛たちを育て続けています。決して肉牛として売られることのない、経済的価値のない牛たちを。原発事故被ばくのない牛たちを。原

牛として。「希望の牧場」と名付けられた牧場です。「誰もいなくなった絶望の町でも、この牛たちだけは元気に生き続けている。それこそが希望なんだ」と話を聞いて、5年たつてもフクシマは何も解決していかない、ひとたび事故が起これば取り返しのできない

「誰もいなくなった絶望の町でも、この牛たちだけは元気に生き続けている。それこそが希望なんだ」と話を聞いて、5年たつてもフクシマは何も解決していかない、ひとたび事故が起これば取り返しのできない

「誰もいなくなった絶望の町でも、この牛たちだけは元気に生き続けている。それこそが希望なんだ」と話を聞いて、5年たつてもフクシマは何も解決していかない、ひとたび事故が起これば取り返しのできない

「誰もいなくなった絶望の町でも、この牛たちだけは元気に生き続けている。それこそが希望なんだ」と話を聞いて、5年たつてもフクシマは何も解決していかない、ひとたび事故が起これば取り返しのできない

「誰もいなくなった絶望の町でも、この牛たちだけは元気に生き続けている。それこそが希望なんだ」と話を聞いて、5年たつてもフクシマは何も解決していかない、ひとたび事故が起これば取り返しのできない

こんにちは

坂口多美子です

多くの反対を押し切り再稼働した高浜原発4号機、再稼働の3日後に原子炉の緊急停止というトラブルが起きました。そのすぐ前にも放射能を含んだ冷却水漏れを起こしたばかり。このことを受け、3月7日、近畿の参議院予定候補者として関電本店に行き、重大事故への抗議と原因究明、原発再稼働・運転中止を求める要望書を提出しました。怒りを持って抗議したその2日後に、

大津地裁が高浜原発3・4号機の運転差し止めを求める住民の申し立てを認めたといい知らせを聞いたときは胸がどどりました。運転中の原発への停止命令は初めてのことで、この画期的な判決を力に、全国「原発ゼロ」の実現に向け力いっぱいがんばりたいと思います。



関電に申し入れ 右端が坂口氏

森下議員の一般質問

3月8日、森下議員はまちづくりの問題で市の姿勢をただしました。

森下市議は、同市西脇地区の道路整備や磯ノ浦海水浴場周辺をマリンレジャーの拠点とするとしているISOCCプロジェクトなどで地元自治会が署名700筆を添えて市に要望書を提出したことを紹介。「事業すべてが地元の疑問、不振の要因となっている。説明責任を果たすべきだ」と迫りました。

尾花市長は「西脇地区全体への理解を得るため、積極的に情報発信する」と答弁。また、普通の建物にしか見えず地元住民も知らなかった磯ノ浦海水浴場の「監視塔」新設に市が補助金を出した問題で大西まちづくり局長は「一階が監視・救護業務と観光案内、2階はカフェ。観光客の増加につながると判断し（1階部分建設に）補助金を交付した」と報告しました。

新しい都市計画に関わる農業振興について尾花市長は「農業の効率化、生産性向上のため農道や農業用水路の整備をはじめとする基盤整備にとりくむ」としました。



民主主義は黙らない SOUND WALK FESTA

3月27日(日) 12:30~16:30頃

和歌山城西の丸広場

- ・ 12:30~賛同各団体のブースをお楽しみください
- ・ 14:00~抗議集会

バンド演奏、漫才、ゲストスピーチなど

- ・ 14:45~サウンドウォーク スタート

スピーチをはさみながら市中心部をパレードします

主催：サウンド・ウォーク・フェスタ実行委員会